

【初任者研修(県立学校)における他校種訪問について】

1 目的

他校種における授業等の参観を通して、授業の進め方や工夫について考え、日々の授業や教育活動にいかし、自己の授業力を向上させることを目的とする。

2 他校種訪問として認められるもの

近隣の小・中学校の課業期間中の通常の授業参観、授業研究会等。(運動会、体育祭、文化祭等の、授業を伴わない学校行事が行われる日を除く。)

3 他校種訪問の対象となる学校の範囲

県内の国公立小学校あるいは中学校を訪問することとし、現在までに交流を行っている学校あるいは地域(近隣)の学校が望ましい。

4 他校種訪問校決定までの流れ

- ① 初任者所属校の校長は、初任者と相談の上、訪問校を決定する。
- ② 初任者所属校の校長は、訪問校の校長に受講者の受入れを打診するとともに、日程・内容等を調整する。調整後、事前に訪問校に依頼状(参考様式5)を送付する。

5 他校種訪問終了後

初任者所属校の校長は、「他校種訪問レポート」(参考様式2)を令和5年2月28日(火)までに訪問校の校長宛てに送付する。

※ 訪問校は、今後の他校種訪問受入内容の検討に活用する。

他校種訪問の内容と研修時間、実施時期および実施例

○1日の研修時間は、半日程度（3時間以上）を目安とし、実施日程の中に他校種訪問レポートの作成を含めてもよい。

○実施時期は、原則として6月～1月とする。

【他校種訪問実施の流れ】（１）通常の他校種訪問の例

日時・会場	形態・時間	内 容	講 師
○月○日 (○) ○○ 小学校 中学校	オリエンテーション (30分)	学校概要説明、施設見学 等	訪問校担当者 〈管理職、総括教諭・ 教諭（教務担当者・校 内研究担当者等）〉
	授業参観 (50～100分)	公開授業、研究授業、通常授業 等	
	協議・講話 (30～80分)	授業の振り返り、協議、質疑応答、意見 交換、特色ある取組についての説明 等	授業参観者、 訪問校担当者、 授業担当者等
	まとめ (20分)	研修の振り返り、他校種訪問レポ ートの作成 等	訪問校担当者

【他校種訪問実施の流れ】（２）コロナ禍における他校種訪問の例

日時・会場	形態・時間	考えられる内容	講師
○月○日 (○) 勤務校	訪問準備 (30分程度)	事前の訪問校資料閲覧（ホームページ閲覧、学校教育 目標の確認）等	※訪問校が受講者へ、事前に資 料を閲覧するよう指示します。
○○ 小学校 中学校	オリエンテーシ ョン、施設見学 (30分程度)	学校概要説明、施設見学 等	訪問校担当者 〈管理職、総括教諭・教諭（教 務担当者・校内研究担当者等）〉
	授業参観 (30分程度)	公開授業、研究授業、通常授業、補習・講習、 模擬授業、事前に撮影した授業動画視聴 等 (1単位時間分すべての授業参観でなくても可)	授業参観者、訪問校担当者 〈管理職、総括教諭・教諭（教 務担当者・校内研究担当者 等）〉、授業担当者 等
	休憩・消毒作業等（20分程度）		
勤務校	協議・講話等 (40分程度)	授業の振り返り、協議、質疑応答、意見交換、講話 等	訪問校担当者
	まとめ (30分程度)	研修の振り返り、他校種訪問レポートの作成 等	

※実線で囲まれた部分（授業参観）をプログラムに入れてください。

※破線で囲まれた部分は、訪問校の実状に合わせて内容構成をアレンジして構いません。

※その他の内容については、訪問校の実状に合わせて柔軟な対応が可能です。訪問校が計画した公開授業研究会、校内授業研究会等のプログラム等に合わせても構いません。

※時間は、訪問校の時刻に合わせて柔軟に実施してください。

※他校種訪問の時間帯については、初任者所属校と訪問校との間で相談して決定してください。

上記は一例です。訪問校の状況に応じて設定してください。